

「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

送付数: 1,459人

回答数: 633人

回答率: 43.4%

担当課: 農林水産課(086-426-3425)

【アンケートの目的】

「倉敷市農業振興ビジョン」の基本目標の実現に向けた目標指標の達成状況について中間評価を実施するとともに、施策の見直しのための資料とする。

【担当課のコメント】

この度は倉敷市の農業施策に関するアンケートへご協力いただきありがとうございました。

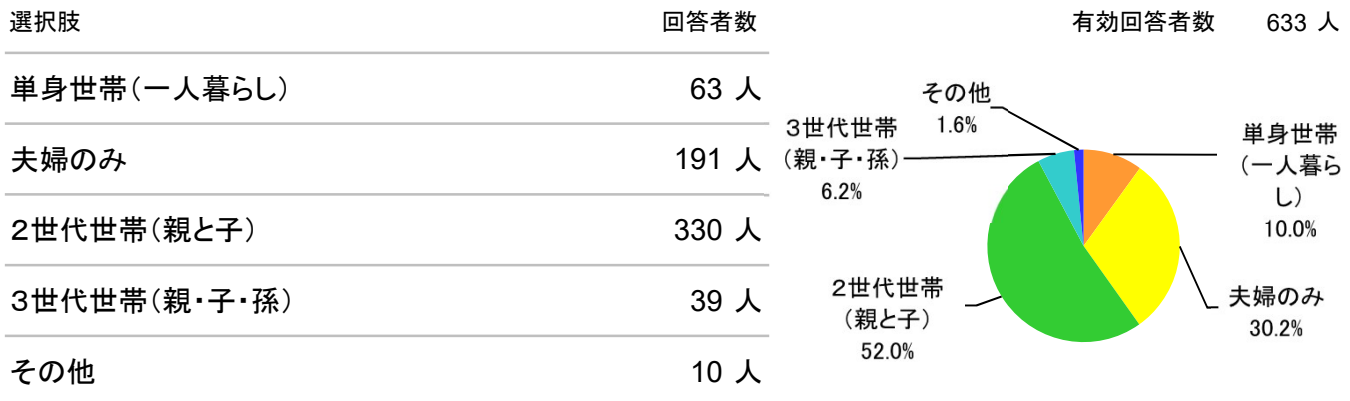
●問3-1「農地(農村)が持つ多様な機能について知っていましたか」では、「知っていた」が40.1%でした。

●問4-1「地産地消を意識して農産物を購入していますか」では、「意識している」または「時々意識している」の回答が82.8%を占めました。また、4-3の「今、取り組んでいる(今後取り組んでみたい)地産地消のための活動」でも「スーパーマーケットなどでの地元農産物の積極的な購入」との回答が約7割と高い数値でした。

●米粉の利用に関する設問で、問5-5「米粉を使用した商品を購入したことがありますか」の問いには64.7%が「ある」と回答があったのに対し、問5-1「通常小麦粉で作られる料理(パン、麺料理、洋菓子など)を米粉に替えて作ったことがありますか」で「ある」と回答したのは33.3%でした。

●今回のアンケートでは、市民の皆さまの地産地消や地元産食材への関心の高さがうかがえる一方で、地元産食材が購入できる場所が少ない、分からない等の課題があり、さらなる周知が必要との意見をいただきました。米粉利用については、米粉製品の購入や家庭での利用等に関心があるものの、地元農産品と同様に取扱店舗が少ない、分からないという状況や、(小麦粉に比べて)価格が高いというイメージから普及が進んでいない状況があります。今回のアンケート結果を踏まえて、引き続き地産地消の推進及び家庭での米粉の普及・利用促進、農地の生産以外の機能や役割の重要性についての周知に取り組んでまいります。

1 あなたの世帯構成についてお答えください。

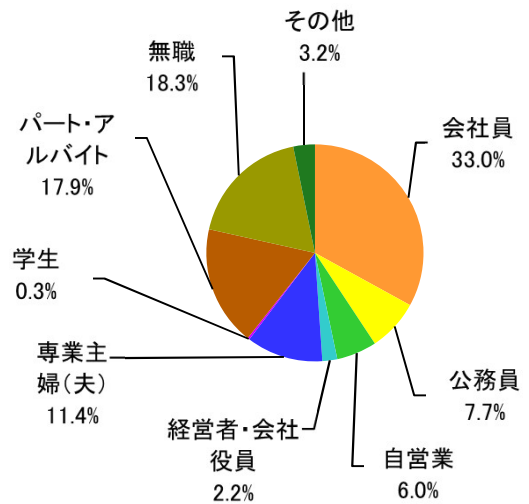


「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

2 あなたの職業についてお答えください。

選択肢	回答者数
会社員	209 人
公務員	49 人
自営業	38 人
経営者・会社役員	14 人
専業主婦(夫)	72 人
学生	2 人
パート・アルバイト	113 人
無職	116 人
その他	20 人

有効回答者数 633 人



その他(抜粋)

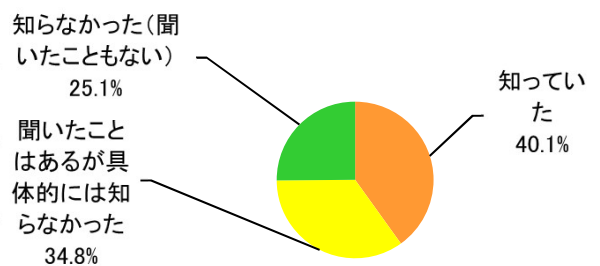
- ・ 年金生活者、団体職員、農業 ほか

3-1 農地(農業)の多様な機能について知っていましたか。

※ 農地の多様な機能とは…「水源の涵養(水を貯える機能)、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等、農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能」のことを言います。

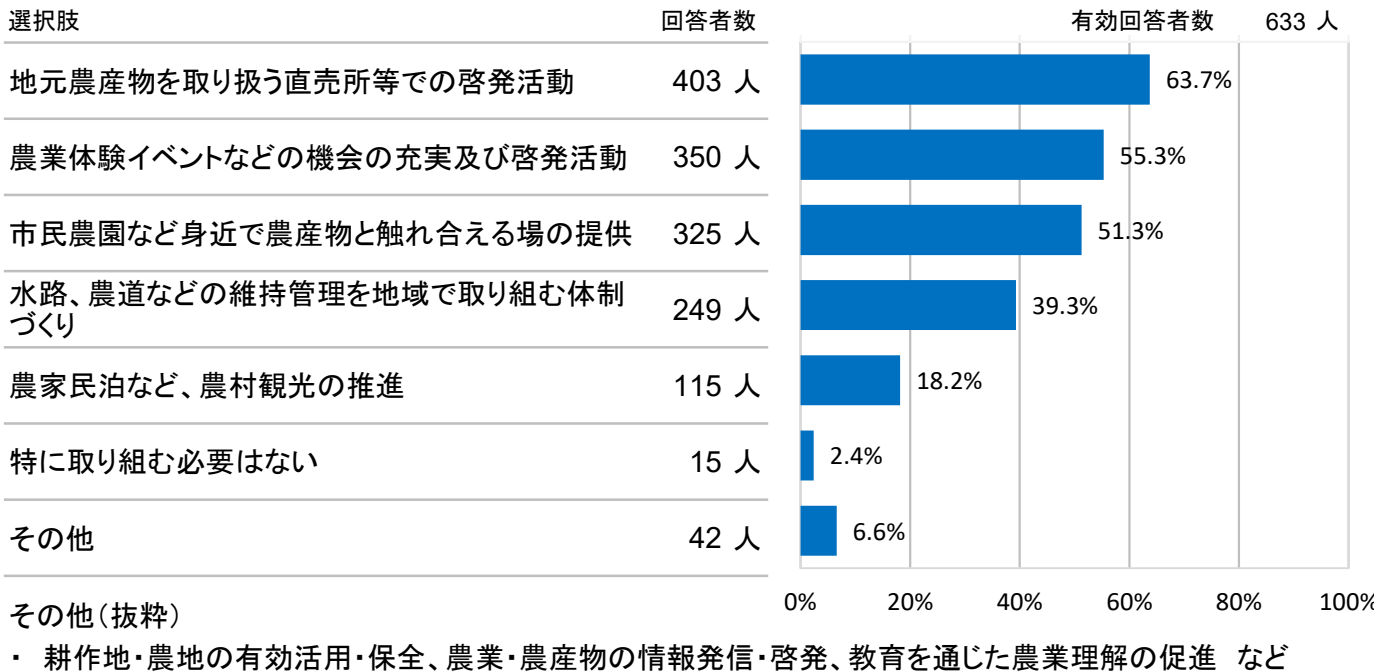
選択肢	回答者数
知っていた	254 人
聞いたことはあるが具体的には知らなかった	220 人
知らなかった(聞いたこともない)	159 人

有効回答者数 633 人



「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

3-2 農地(農業)の多様な機能について理解を深めるためには、どんな取り組みが必要だと思いますか？ (複数回答可)

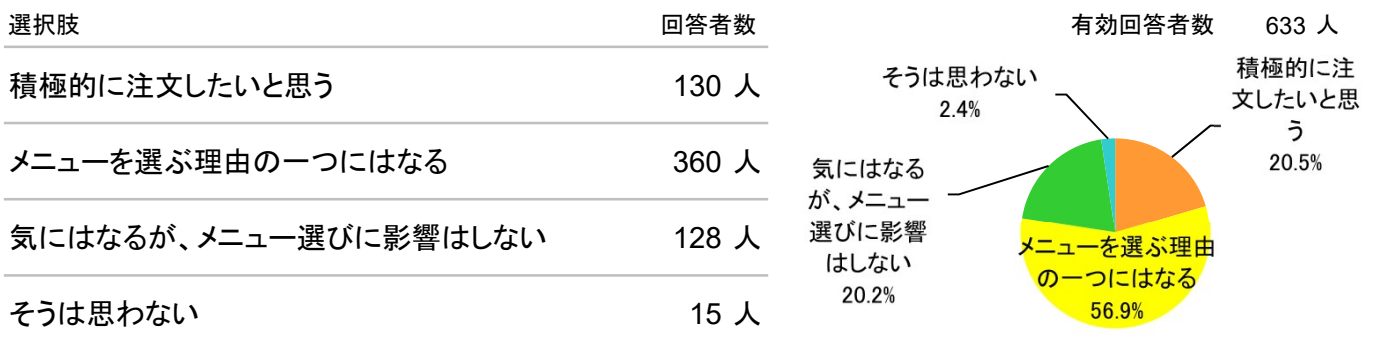


4-1 地産地消を意識して農産物を購入していますか？

※ 地産地消とは…地域で生産された様々な生産物や資源を、その地域で消費することです。

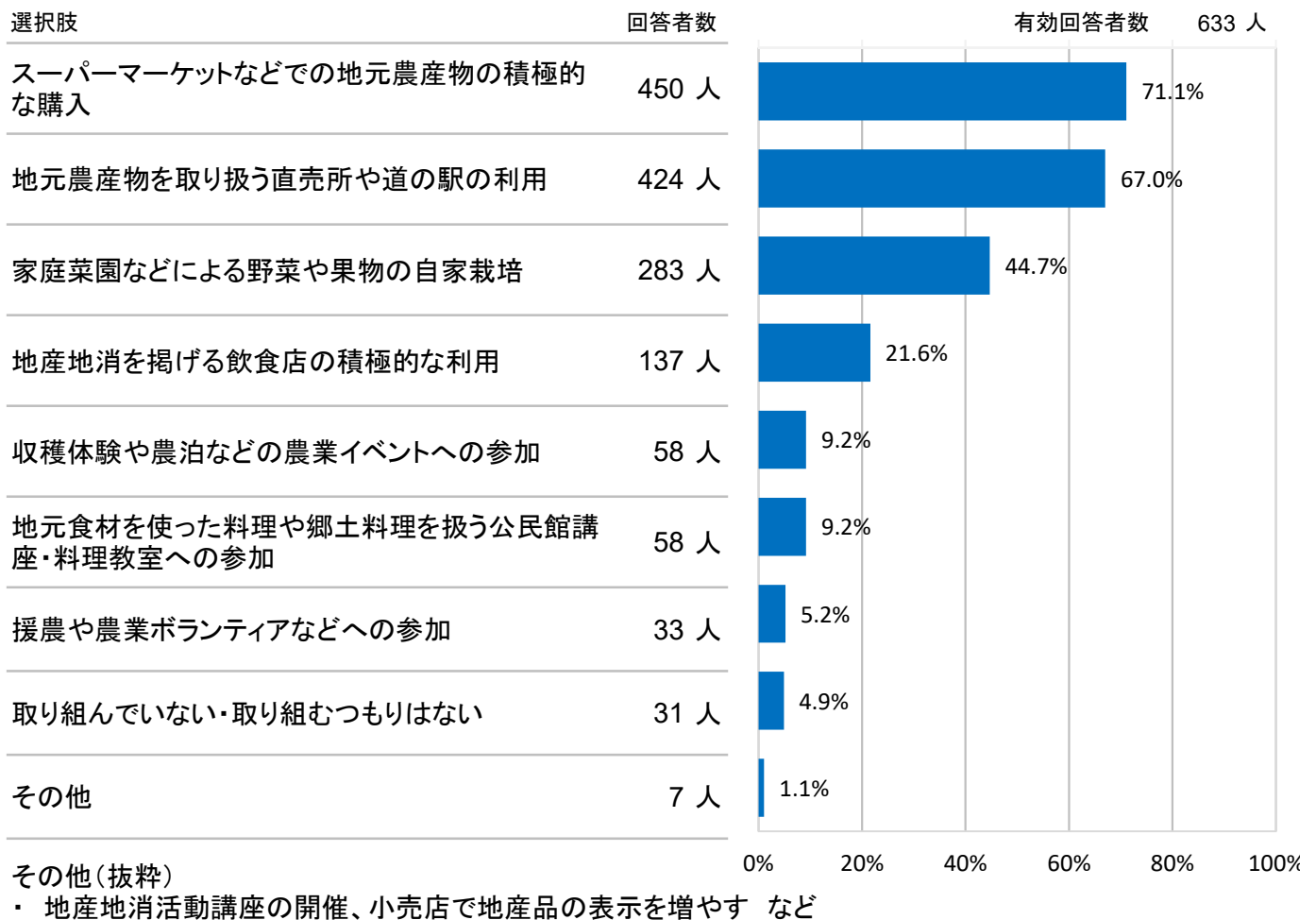


4-2 普段、飲食店を利用する際に、「地元食材」を使っているメニューがあれば注文したいと思いますか。



「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

4-3 今、取り組んでいる(今後取り組んでみたい)地産地消のための活動は何ですか？(複数回答可)



米は日本人の主食として古くから栽培されてきました。現在、米の国内自給率はほぼ100%となっており、国内で生産された米だけで国内消費を賄うことができます。現在は一時的な米の供給不足が発生している状況ですが、長期的には、後継者不足や生産者の高齢化に伴う生産面積の減少などにより、米の供給量の減少が懸念されています。

一方で、小麦の国内自給率は約15%となっており、多くを輸入に依存しています。消費量の多くを輸入に頼る状況は、生産国の天候不順や政治情勢の悪化による輸入量減少など、国際情勢の影響を大きく受けることとなります。これらの状況は、わが国の食料安全保障に大きな影響を及ぼします。

そこで倉敷市では、小麦に替わる食品原材料として、国内でほぼ自給が可能な米を利用した「米粉」の普及を進めることにより、米の供給力や需要を維持するための施策を実施しています。

※ 米粉とは…米を細かく砕いて粉状にしたものです。古くから和菓子の材料として使われてきました。グルテン(小麦に含まれるたんぱく質)を含まないため、小麦アレルギーの人でも安心して食べることができます。最近ではパンや麺、焼菓子などさまざまな料理に使われています。

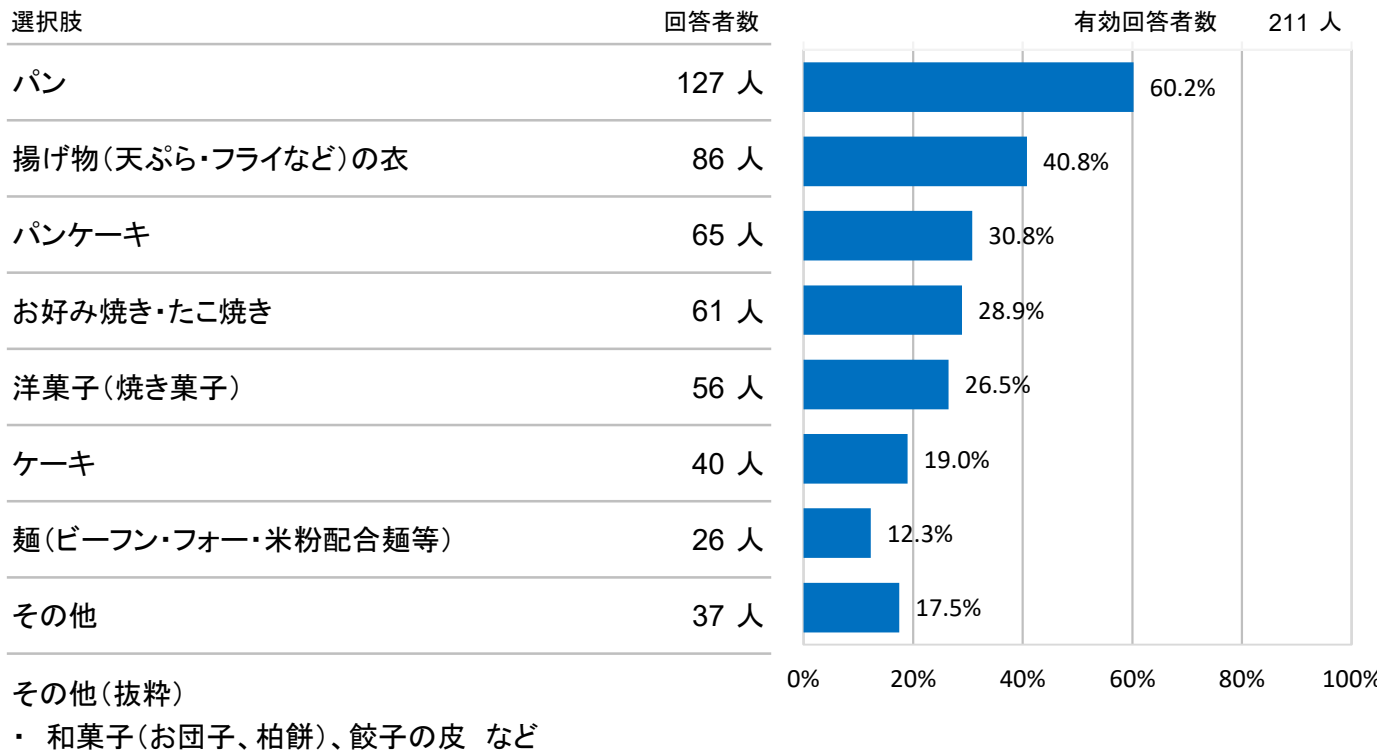
5-1 通常小麦粉で作られる料理(パン、麺料理、洋菓子など)を米粉に替えて作ったことがありますか？



「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

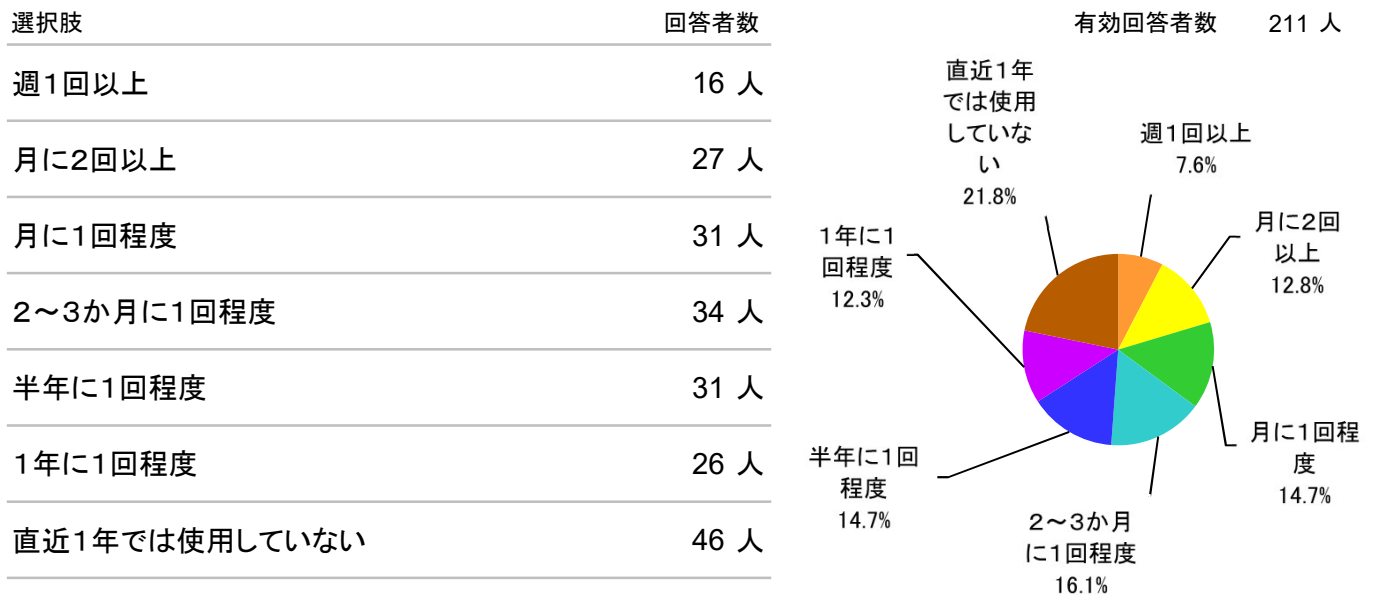
5-2 どのような料理を作りましたか？(複数回答可)

※ 5-1で「ある」と回答された方にお聞きます。



5-3 どれくらいの頻度で使いますか？

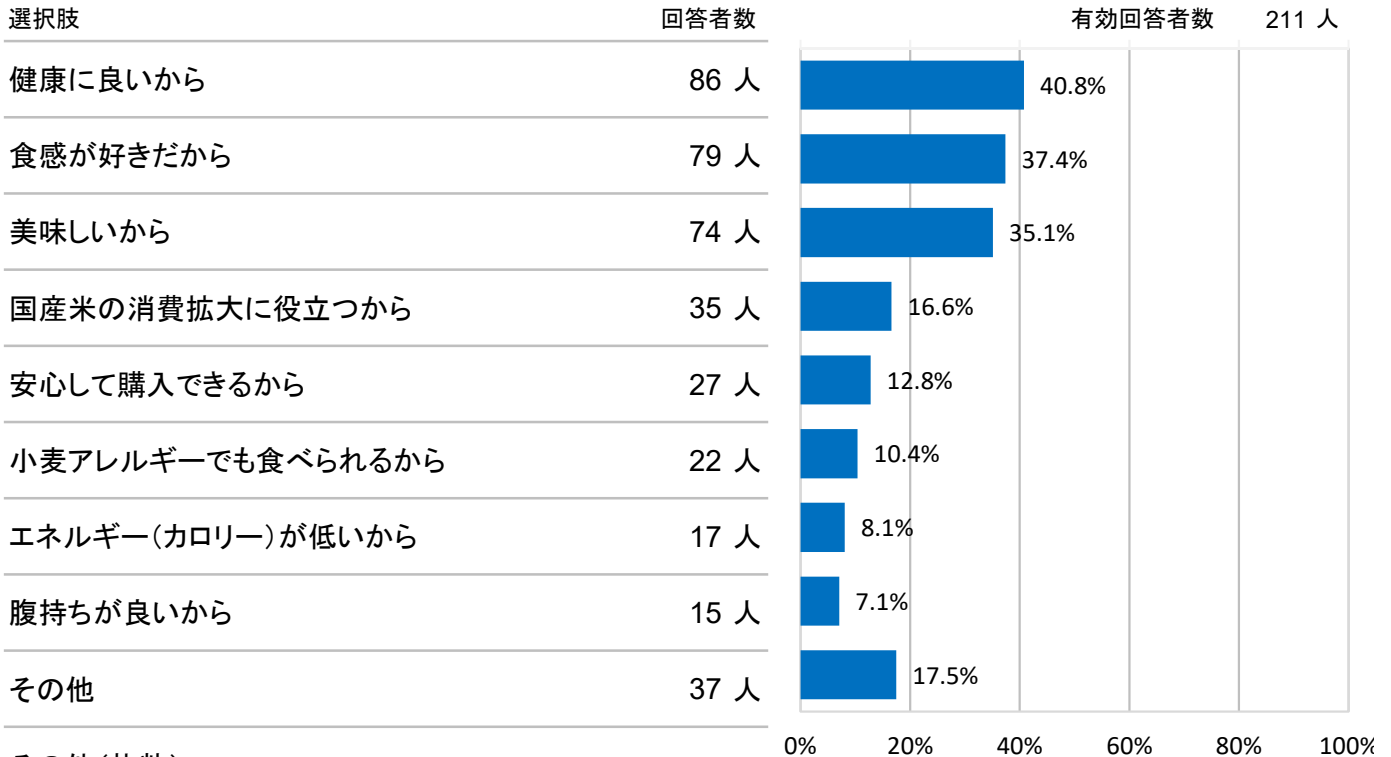
※ 5-1で「ある」と回答された方にお聞きます。



「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

5-4 料理に米粉を使う理由は何ですか？(複数回答可)

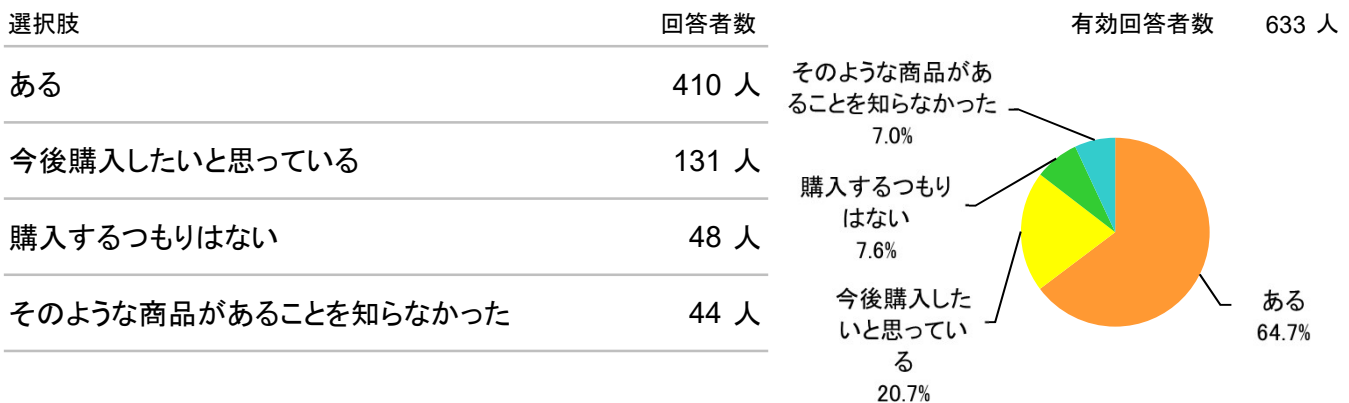
※ 5-1で「ある」と回答された方にお聞きます。



その他(抜粋)

- ・ 米粉をもらったから、健康に配慮、興味があったから ほか

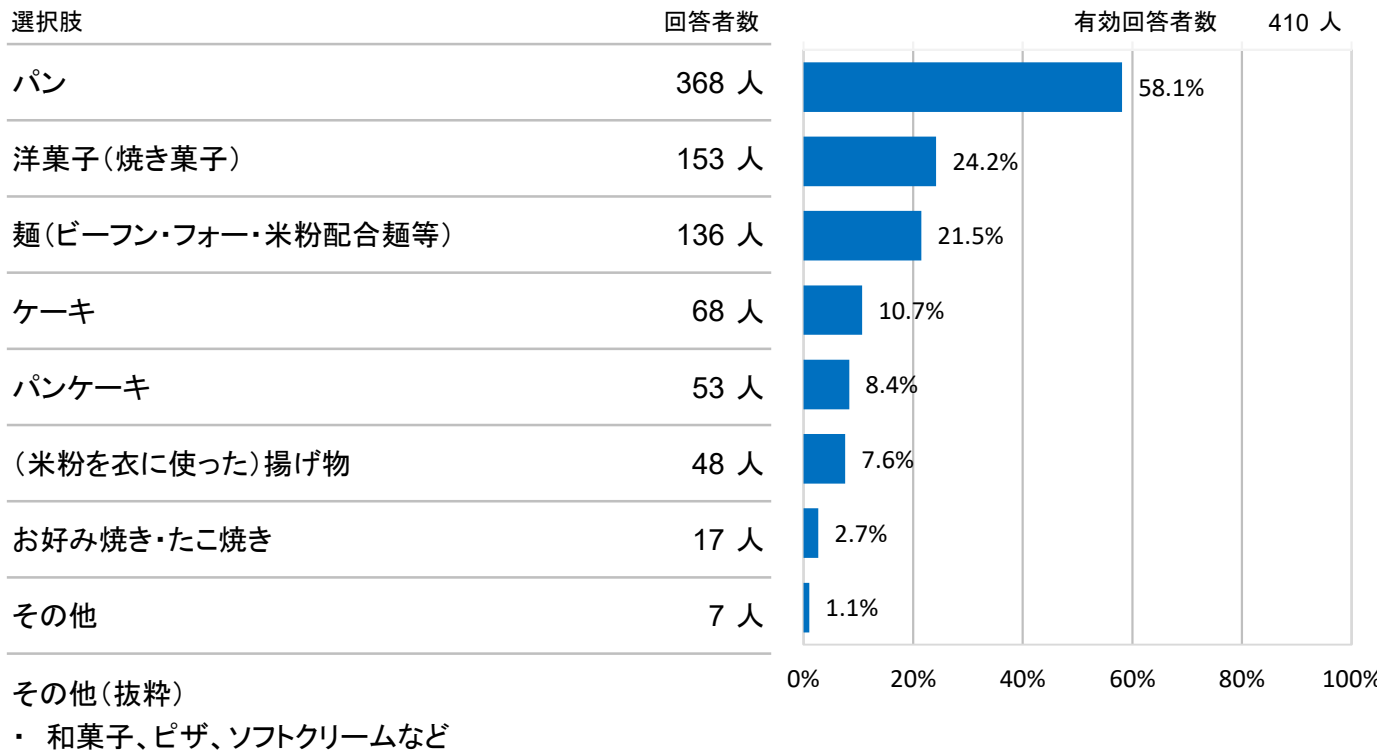
5-5 米粉を使用した商品を購入したことがありますか？



「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

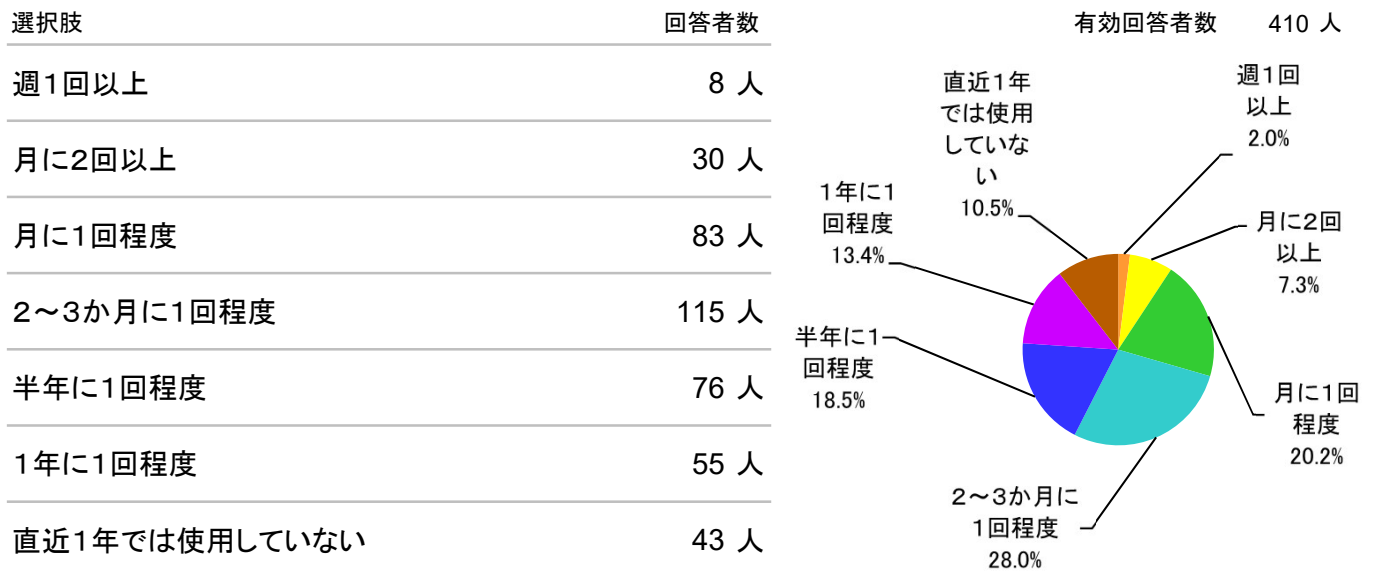
5-6 どのような商品を購入しましたか？(複数回答可)

※ 5-5で「ある」と回答された方にお聞きます。



5-7 どれくらいの頻度で使いますか？

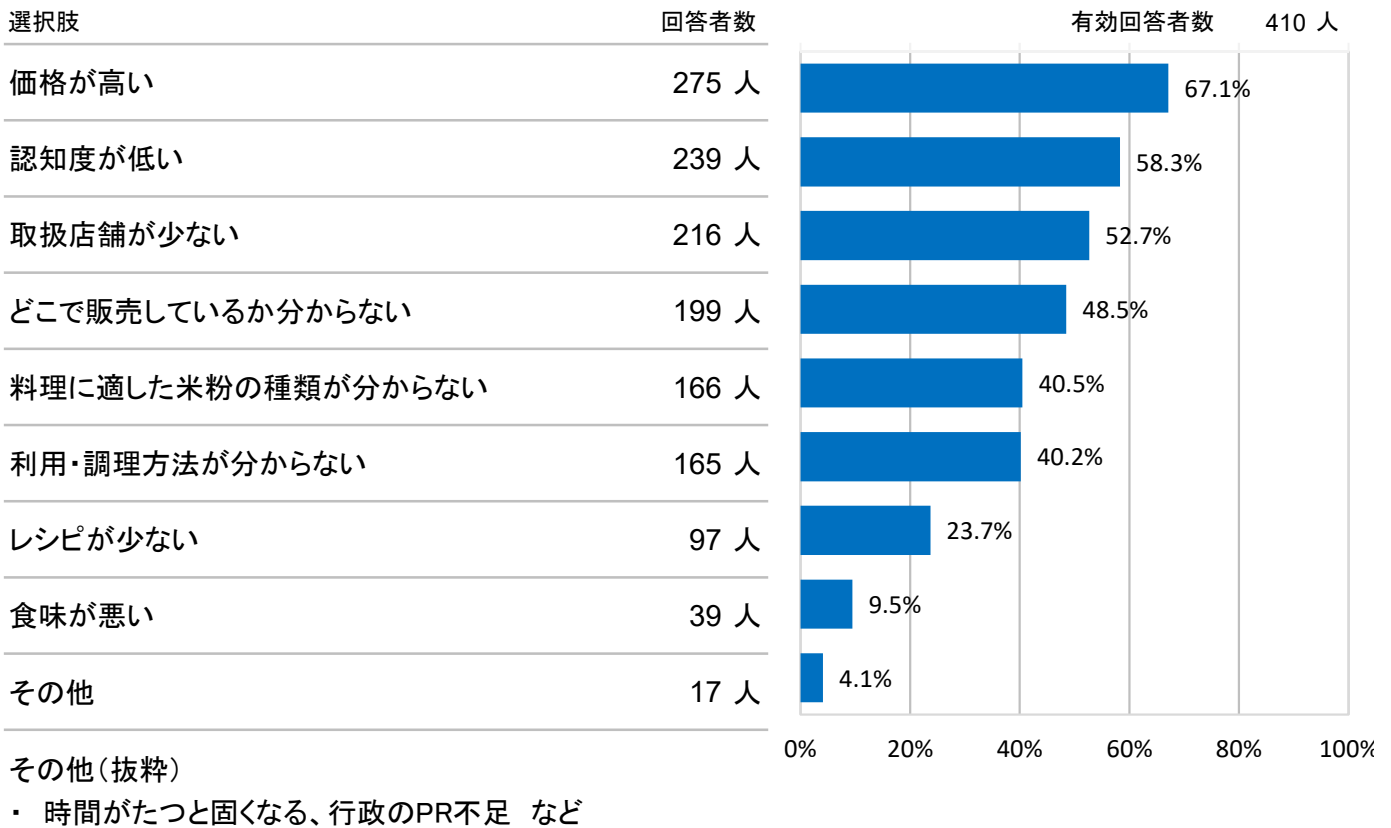
※ 5-5で「ある」と回答された方にお聞きます。



「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

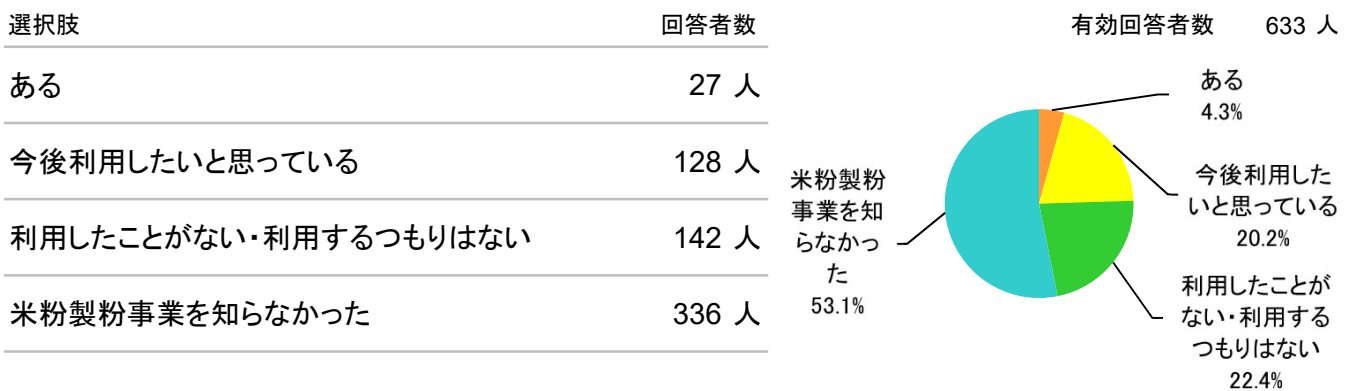
5-8 米粉の普及・利用拡大に向けて課題となるのは何だと思いますか？(3つまで回答可)

※ 5-5で「ある」と回答された方にお聞きます。



5-9 倉敷市の米粉製粉事業を利用したことはありますか？

※倉敷市では米粉の普及・利用拡大に向けて米粉製粉機を導入し、ご家庭の米を持参いただいて製粉する事業を実施しています。



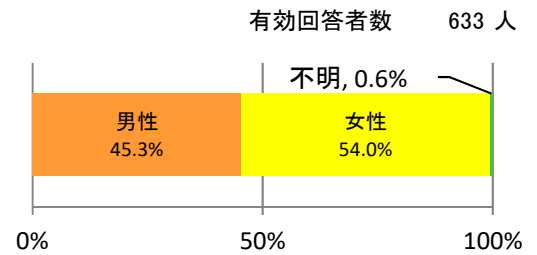
6 倉敷市の農業施策についてご意見があればお聞かせください。 (別ファイルをご覧ください)

(次ページにモニター属性の内訳あり)

「農業振興について」(令和7年6月13日～6月23日実施)

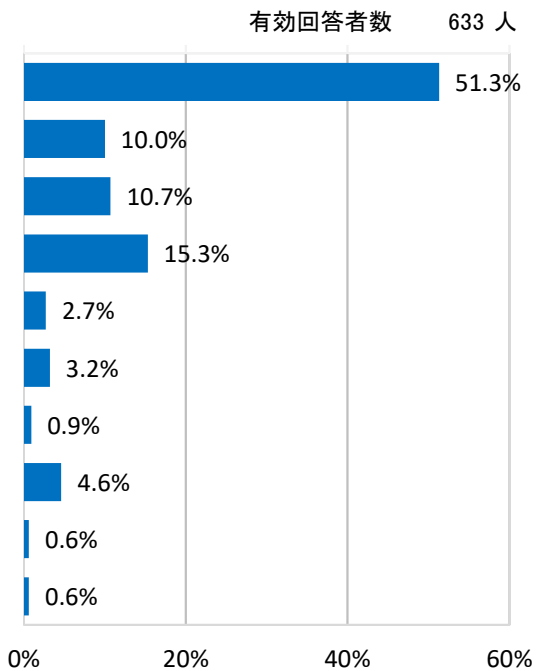
モニターの属性(性別)

選択肢	回答者数
男性	287 人
女性	342 人
不明	4 人



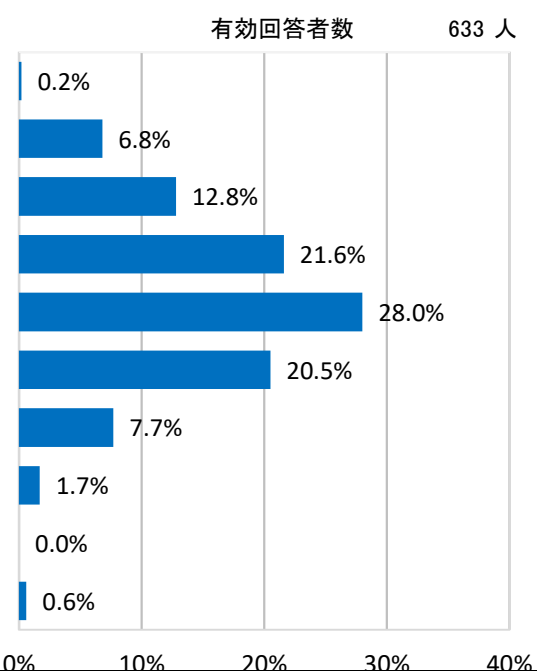
モニターの属性(地区)

選択肢	回答者数
倉敷	325 人
児島	63 人
玉島	68 人
水島	97 人
庄	17 人
茶屋町	20 人
船穂	6 人
真備	29 人
市外(在勤)	4 人
不明	4 人



モニターの属性(年代)

選択肢	回答者数
90代	1 人
80代	43 人
70代	81 人
60代	137 人
50代	177 人
40代	130 人
30代	49 人
20代	11 人
10代	0 人
不明	4 人



(注)各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。